

利用者・スタッフ双方のマスク着用が重要！



公益社団法人
東京都医師会

新型コロナに感染した美容師2人と139人の客



美容師2人が感染していてもマスク着用によって客は誰も感染しなかった (MMWR Morb Mortal Wkly Rep .
2020 Jul 17;69(28):930-932.) (忽那賢志先生より)

1、必要な予防・医療・介護は、確実に受けてください。新型コロナウイルス感染症を過度に恐れず、マスク着用・しっかり手洗いのもと受診してください。通常の外来診療の場でのクラスター発生は、ほとんどありません

2、三密を避ける、人と会う時はマスクを付ける、場面場面での手洗い、を守りながら、活動的な生活を心がけてください

1 インフルエンザ流行に伴う発熱患者の検査需要 (9/15厚労省通知)

<ピーク時の1日当たりの検査需要の算出方法>

A: 【年度当たりのインフルエンザ抗原定性検査の検査件数】

B: 【発熱患者等の診療等を行う医療機関の週当たりの診療日数 (5~6日)】

$$\text{「ピーク時の1日当たりの検査需要」} = A \times 1割 \div B$$

	インフル検査件数 (A)
平成29年度	3,288,395
平成28年度	2,514,696
平成27年度	2,077,423
平成26年度	1,966,365

× 1割 ÷ B (※)

※診療日数 (週5又は6日)

ピーク時の発熱患者の検査需要 (1日あたり)	
週5日:	65,768件/日
週6日:	54,807件/日
週5日:	50,294件/日
週6日:	41,912件/日
週5日:	41,548件/日
週6日:	34,624件/日
週5日:	39,327件/日
週6日:	32,773件/日

<1日当たりの検査需要>

- 最大 65,768件/日 (週5日診療)

(参考: 4年平均49,234件/日 (週5日診療))

2 発熱患者の診療等に必要な医療機関数について

最大 65,768 件/日の検査需要から試算

1) 1800程度の医療機関（新コロ外来、同様医療機関）で対応

⇒ 1 医療機関あたり、平均で38件/日の発熱患者（インフル検査）に対応する必要があり、負担が大

2) 各医療機関での診療・検査件数で試算

<参考（国の補助金）>

・ 1日最大20名の診療体制を助成する想定

① 65,768 件/日 ÷ 20 ⇒ 必要数：3,288 施設

② 65,768 件/日 ÷ 10 ⇒ 必要数：6,576 施設

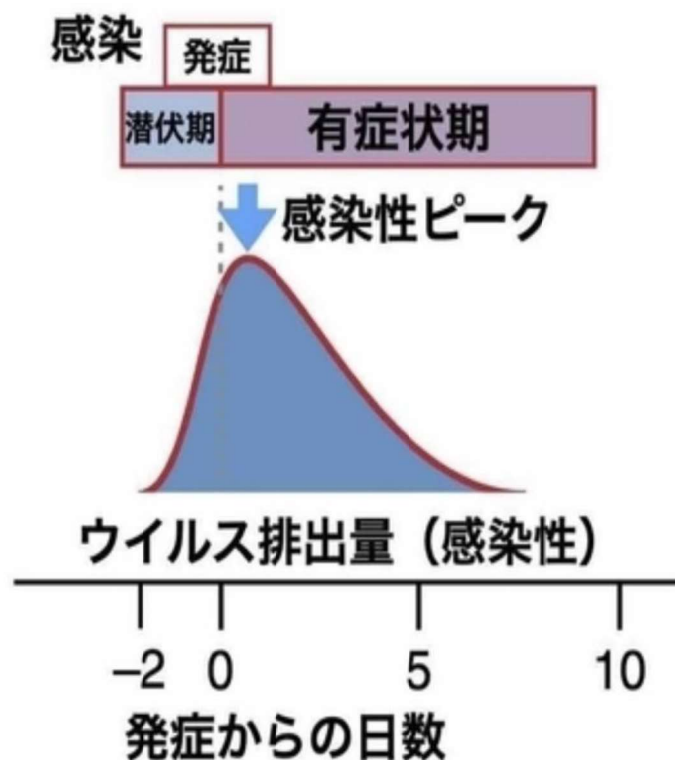
（参考：都内の医療施設数（平成30年））

- ・ 内科：病院（544）、診療所（8,056）
- ・ 小児科：病院（187）、診療所（2,529）

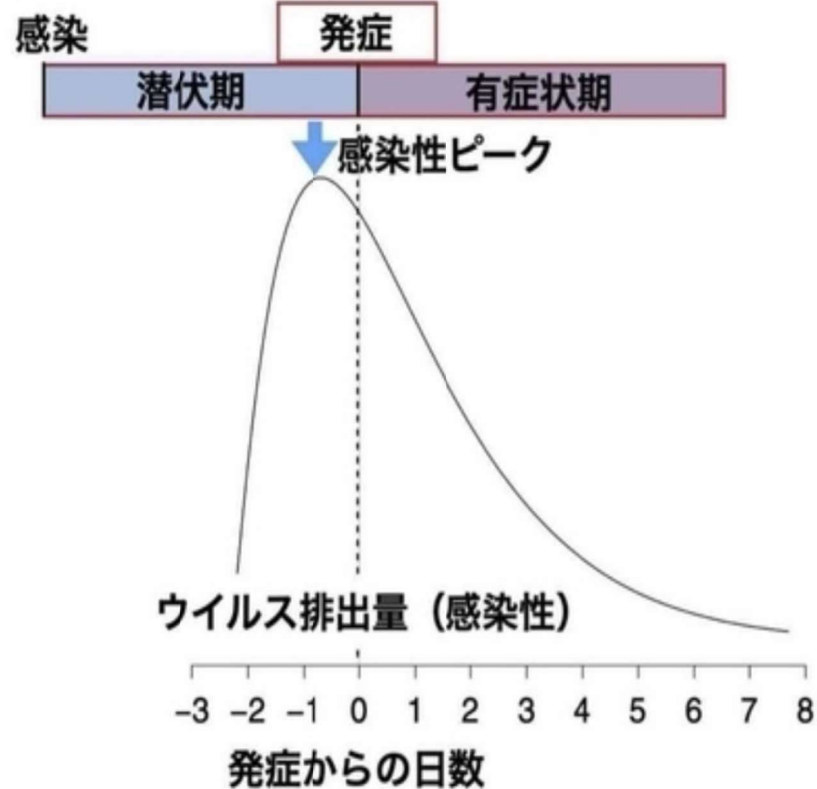
- ・ ピーク時に「新型コロナ外来」、「同様の医療機関」のみで対応することは困難
- ・ 発熱患者を診療する医療機関として、内科・小児科等の半数程度は指定が必要か

発症日と感染性のピーク（インフルエンザとCOVID-19）

季節性インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

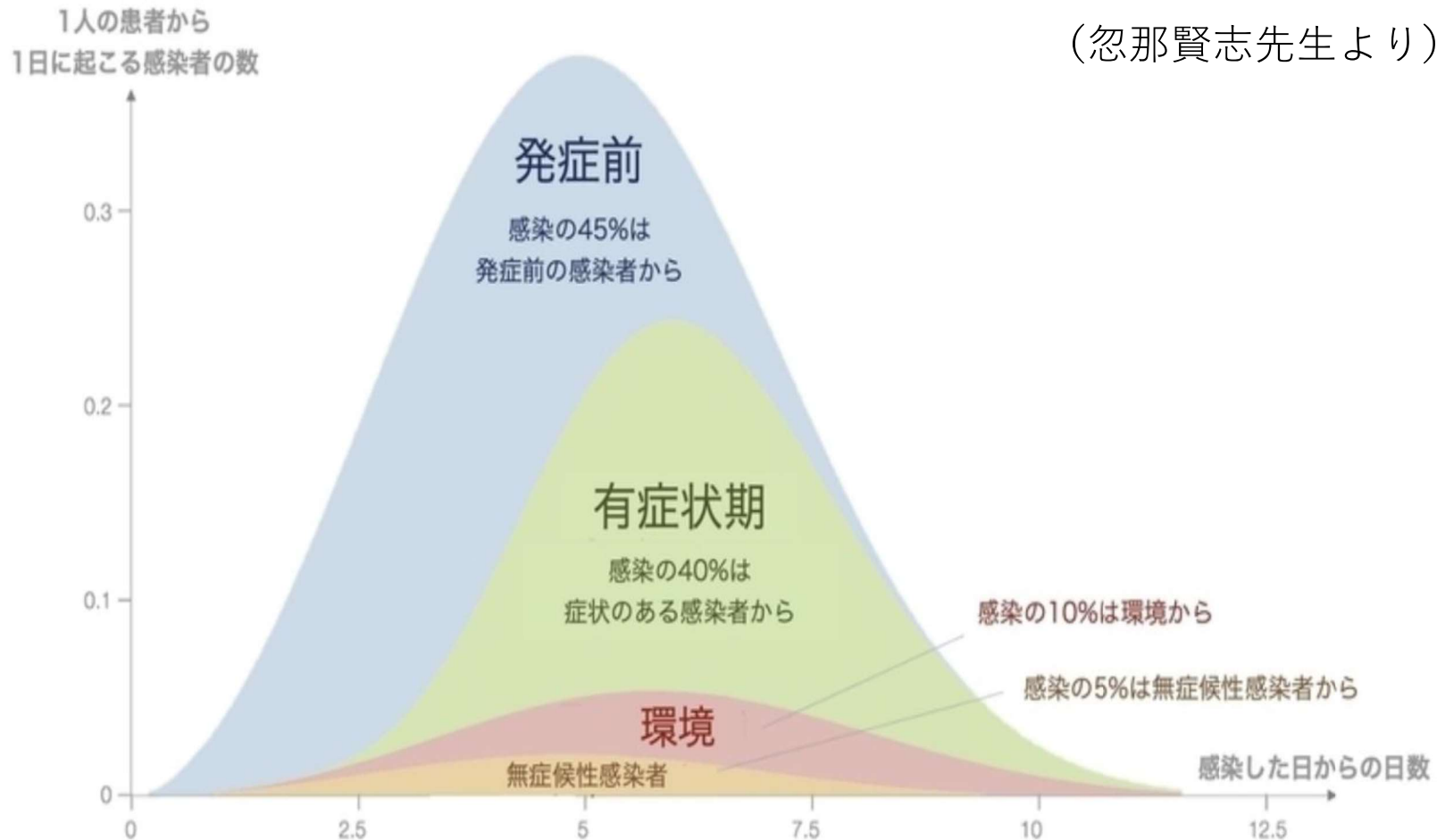


(忽那賢志先生より)

インフルエンザと新型コロナの発症前後の感染性の違い (<https://doi.org/10.1038/s41591-020-0869-5>より作成)

感染者の病期と感染性

(忽那賢志先生より)



感染した日からの感染性の推移 (Science 10.1126/science.abb6936 (2020).およびTomas Pueyo氏 "The Basic Dance Steps~"より)

- 1、年末年始の診療体制も、“標準的な予防策”のもと“通常の医療体制の延長線上”にて診療をお願いします
- 2、可能な範囲で、発熱・感染症状を有する患者さんに対応し、必要であれば季節性インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の検査をご検討ください
- 3、入院・救急医療を担う病院への負担軽減を念頭に地域全体で医療提供体制の維持について連携・ご協力ください